

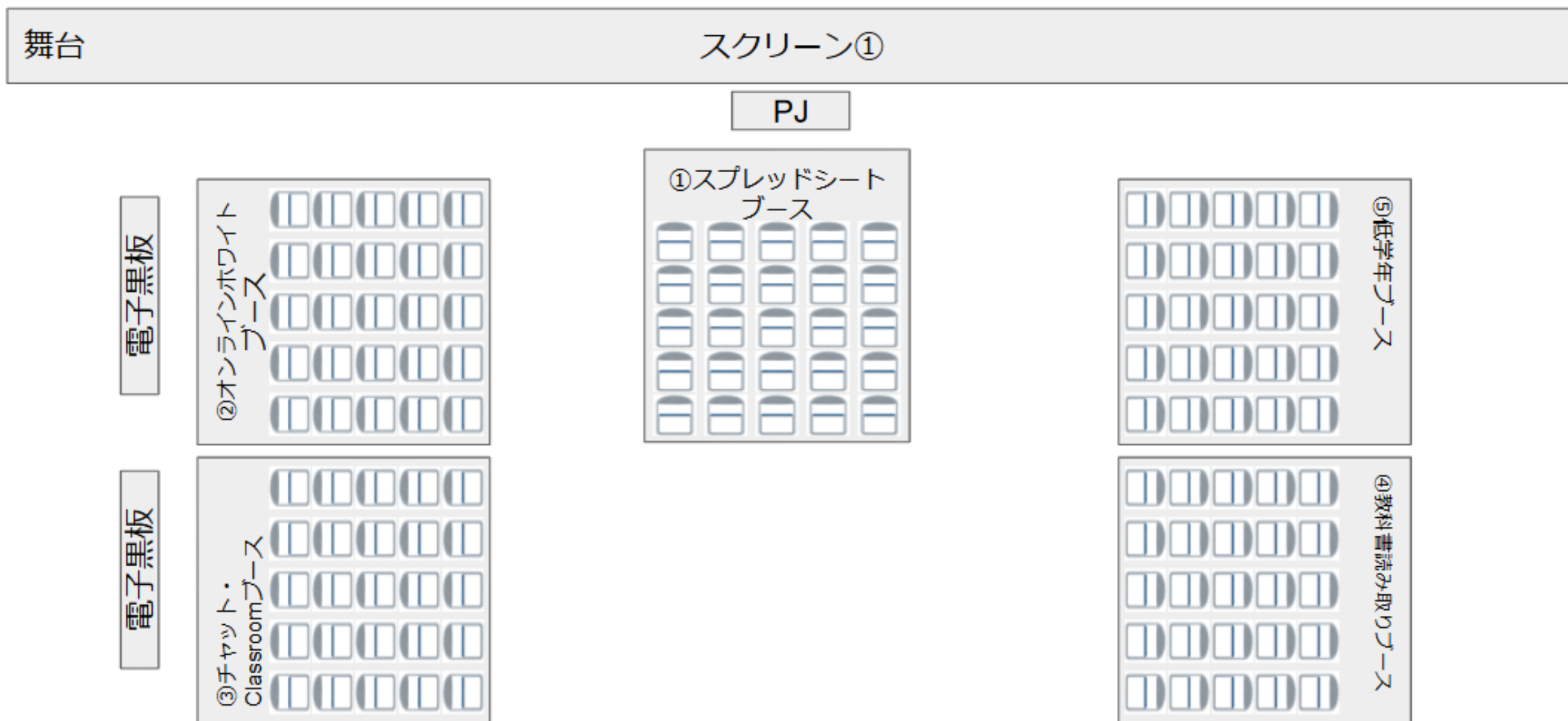
ブース型研修（各10分×2）

【登野城小学校体育館開催】 授業研究会 ブース型研修 14：45～15：20

場所	内容等		
①	スプレッドシート活用ブース	○振り返り等におけるスプレッドシートの活用例	
②	オンラインホワイトボードブース	○授業での活用例 ○便利な使い方	
③	チャット・クラスルーム活用ブース 生成AI含む	○職員間での活用例 ○授業での活用例	
④	実物投影機活用・社会科教科書読み取りブース	○教科書読み取り例 ○実物投影機活用例	
⑤	低学年ブース	○低学年での端末活用例 ○クラスルーム、スライド	

各自、ブースを選んで座ってください。ただし、座席に限りがありますのでご了承ください。①14:45～ ②15:05～

1回目が終了しましたら、次の希望するブースへ移動をお願いします



● スプレッドシートブース

スプレッドシートを使用し、評価項目の色分けや動画リンクの貼付けで情報を視覚的に提供。また、ヘルプサインを記載し、生徒が助けを呼びやすくする工夫をしていること活用することのメリットなど説明していただきました。他者参照できることや学習の進捗状況、達成度、子供の考えを確認できるなど教師の見取りが充実するメリットについてもお話がありました。



2月10日, 15:06

クラスルームの中にループリンクを記載

細かく見とるために評価の項目を増やした

2月10日, 15:08

項目は敢えて多めにする
→スプレッドシートを最大限に利用

2月10日, 15:09

文字数に合わせてセルに色付け

スプレッドシートに動画のリンクも貼り付け、すぐ使えるように

2月10日, 15:10

お助け動画などさまざまな教材を共有

2月10日, 15:10

ヘルプサインもシートに載せておくと、手を挙げにくい子もお助けを呼びやすくなる

● オンラインホワイトボードブース

実際に公開授業使用した「[オンラインホワイトボード](#)」シートを参加者へ配布。1つのシートで学級全員分が見られるのが利点。意見の違いを簡単に確認できるので交流がしやすいこと、セクションだけ作成して生徒に自分のノートとして使えるようにしている。導入時は機能が多いことや誤って消してしまうなど協働編集の大変さがあったが、継続し活用することで生徒も教師も慣れてくることをお話ししてくれました。

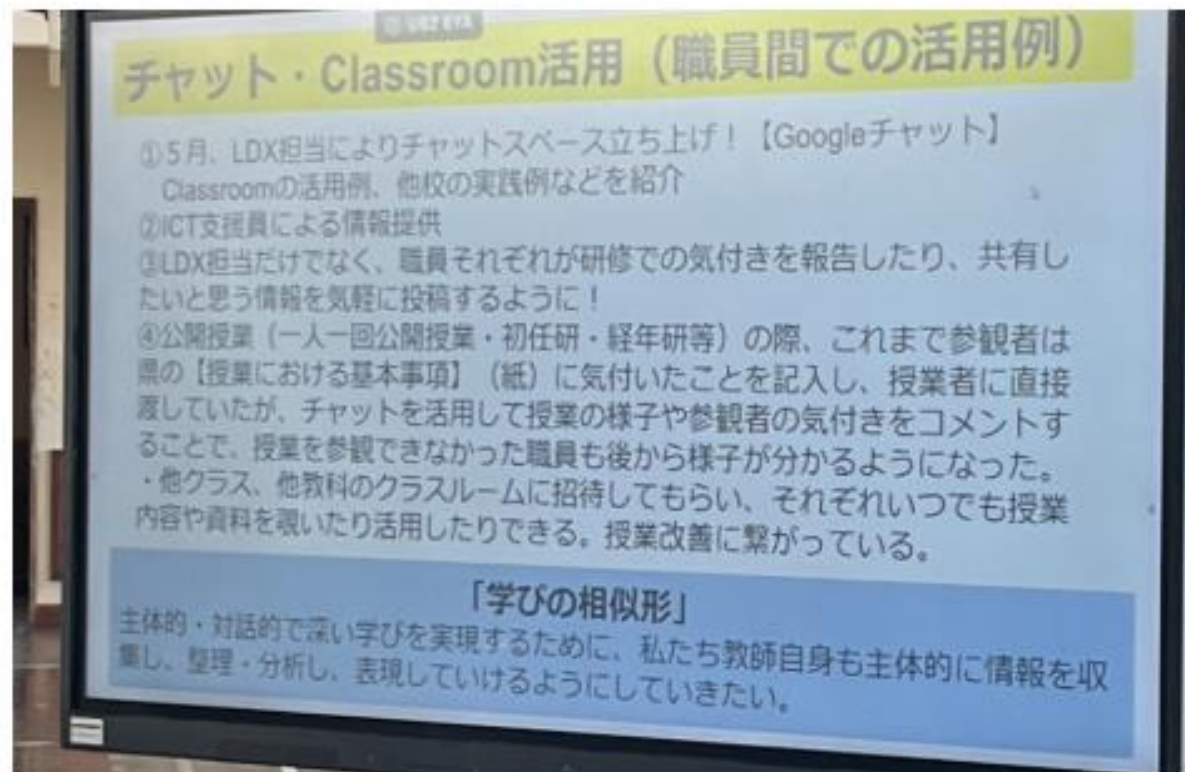
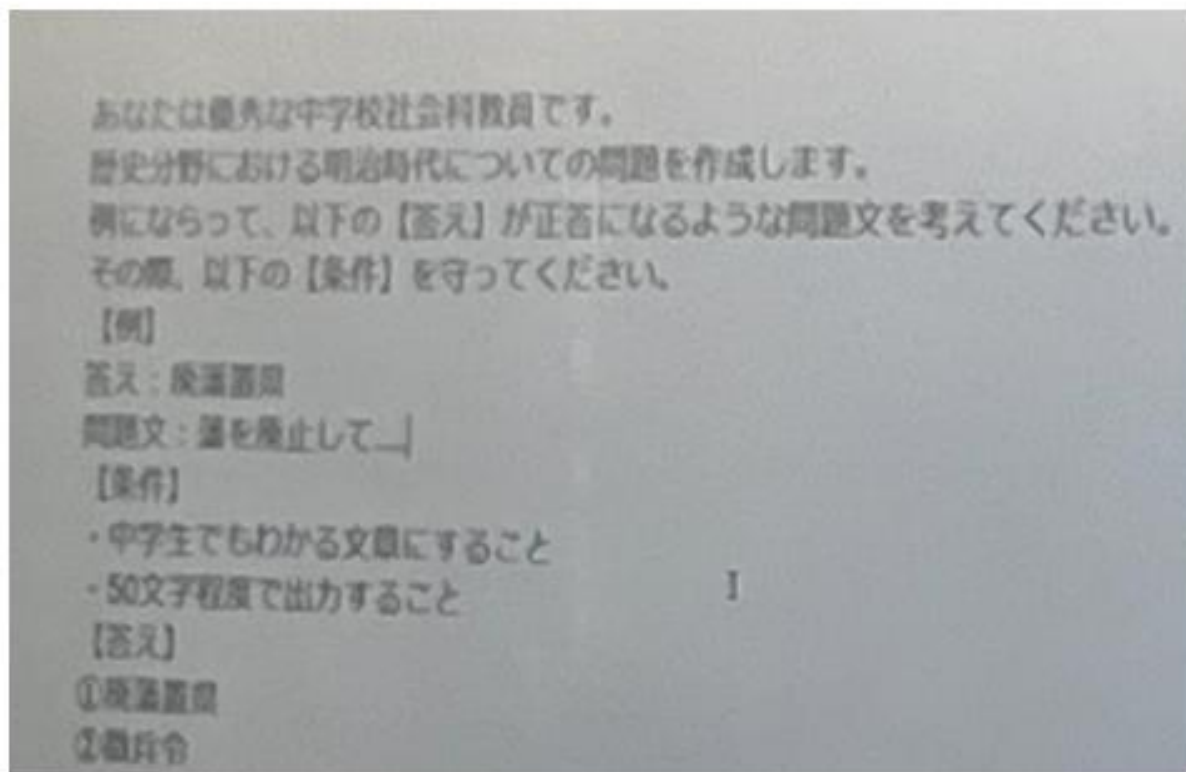


● Chat・Classroom・生成AIブース

Chatは気軽にコミュニケーションが取れるツールであること、学級Chatは共有したいリンクや写真など送り合っていて学級に携わる全ての教師も参加している。学校職員Chatでは、研究授業の様子や所感、他校の取り組みなどをすぐに送ることができ便利。

Classroomは、積極的に他教科・他学年のクラスへも参加し取組状況や活用内容を見ている。

生成AIでは、修学旅行の調べ学習に使う参考サイトを出してもらったり問題の作成、具体的なプロンプト例も見せていただきました。



● 小学校低学年活用ブース

1年生ではClassroomで毎日時間割を配布したり音読にTeamsを活用、宿題ノートの写真・図工の作品を共有するチャット活用をしていること。

算数では問題をといた児童からChatへ送信し、考え方を共有したりヒントを得る児童もいることをお話していただきました。



文科省学校DX戦略アドバイザー教育講話

講師 水谷年孝氏 大城智紀氏



「セカンドGIGAに向けて取り組むべきこととは？」

150人近くの参加がありました。

- ・活用する手段を多様化すること
- ・児童生徒の活動時間ややりとりするデータ量、コミュニケーションを増やすこと
- ・アウトプットの量から質へ
- ・児童生徒の活動の複線化へ
- ・子供にゆだね、より主体性を育むこと
- ・教師の見取りをしっかりと行い、個別支援へつなげること

- ・教師が教えるから児童生徒自らが学ぶ授業へ

など、講話をいただきました。